

(様式第4号)

第9回上田左岸地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田左岸地域協議会
2 日時	令和5年12月21日 午後1時30分から
3 会場	塩田公民館 大ホール
4 出席者	赤堀委員、浅川委員、小林委員、小山委員、田中委員、田村委員、富田委員、西入委員、羽田委員、樋口委員、松田委員、宮坂委員、宮崎委員、宮下委員、安江委員、柳澤委員、山田委員、和田委員
5 市側出席者	【事務局】間宮塩田地域自治センター長、藤沢川西地域自治センター長、滝沢城南地域振興政策幹、竹花地域内分権推進担当係長、滝澤地域内分権推進担当主査、清水地域内分権推進担当主任、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年12月26日

協議事項等

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 上田市に提出する意見書(案)について
事務局から意見書(案)について説明

(2) 各分科会協議「第1分科会」「第2分科会」「第3分科会」

【第1分科会：自治・まちづくり】

上田市に提出する意見書(案)について検討

- ・全体会でも特段の疑義及び意見がなかったことから、原案のとおり提出することを確認した。
- ・意見内容のひとつである基幹集会施設以外の集会施設への補助制度に関わって、地域包括支援センターが地域の支援活動を展開するために調査した「人の集まれそうな場所マップ」を基に、地域の各所に「生活改善センター」「実行組合」「集会所」「公民館」などの名称で集会施設が多数存在していることを再確認した。特に農村部に多いこれらの集会施設は、行政の支援なしに維持管理されており、改めて行政の関りの必要性の再検討について再認識した。
- ・自治会に依頼して実施したアンケート調査の結果を各自治会に報告しなければならないが、その方法等は、会長及び事務局に一任とし今後事務を進めることとした。

【第2分科会：子育て・福祉・教育】

調査研究についての感想等

以下、委員からの主な感想等

○11/26 開催「漢食堂」(長野大学中村ゼミ Team まちづくり主催)

- ・自分たちが企画したイベントをやり遂げる経験ができた。社会に出て役に立つ。
- ・卒業しても、地域と関わられるようなことをやっていきたい。
- ・周知を早くすれば、参加者がもっと増えた。
- ・このような企画に地域が手を挙げるということも考えられる。大学のゼミの企画と地域の要望がうまくマ

ツチングするとよい。

○第二分科会の活動をとおして

- ・子育てやまちづくりについて他の自治会の話も聞けて勉強になった。
- ・子育てや福祉に関する不安について、仕方がないと諦めないで、自分たちで動いてやっていく必要があると考えさせられた。
- ・過疎化、老人の一人暮らしが進んできており、先行きに不安を感じている。
- ・高齢者施設などで、若者、大学生と関われる機会が増えるとよい。
- ・こども食堂のように広い範囲で様々な接点があり、情報交換や実践を行うことで非常に参考になった。
- ・コロナ禍を経験したことにより、地域のつながりが復活していない中で、違う手段でつながる方法がないか、こども食堂のような発想で何かよい方法がないかと考えてきた。今回の意見書を上田市側でヒントにしたい。

【第3分科会：産業・地域振興】

調査研究についての感想等

以下、委員からの主な感想等

- ・ひとつのテーマを掘り下げて調査研究する時間もほしかった。
- ・別所温泉エキナカサービスは、上田電鉄(株)の協力もあり、今後様々な仕掛けが期待できるのではないか。
- ・前期は地域協議会をどうするのかという議論が多かったが、今期は具体的な調査研究を行うことができ、有意義な時間を過ごせた。

4 その他

次回の開催予定

日時 令和6年1月18日(木) 午後1時30分から

場所 川西公民館 大ホール

5 閉会